

A.2 吸収量の算定方法

A.2.1 認証対象期間

【選択】

【記入】

認証対象期間	2018年04月01日 ~ 2026年03月31日
--------	---------------------------

- ※1 認証対象期間の開始日は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日とすること。
- ※2 認証対象期間の終了日は、認証対象期間の開始日から、同日より8年を経過する日若しくは2031年3月31日のいずれか早い日までの間で設定すること。
- ※3 認証対象期間の開始日が※1で定める日と異なる場合、又は認証対象期間の終了日が※2で定める日と異なる場合、どちらかに該当する場合は事務局までその旨を連絡すること。

A.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{cut} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
C_{total}	当該年度の吸収量	tCO2
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 C_{BL} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 C_{cut} (tCO2)	当該年度の 吸収量 C_{total} (tCO2)
2018年度	0	723.9	0	723
2019年度	0	848	0	848
2020年度	0	859.7	0	859
2021年度	0	844	0	844
2022年度	0	822.7	0	822
2023年度	0	812.9	0	812
2024年度	0	788.3	0	788
2025年度	0	769.7	0	769
2026年度	0	0	0	0
2027年度	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0
合計	0	6469.2	0	6465

- ※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、A.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。
- ※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、A.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。
- ※3 当該年度のベースライン吸収量は、A.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

A.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)
2018年度	575.0382845	148.8491452	723.8874296	365	723.9
2019年度	673.5327347	174.471108	848.0038427	366	848
2020年度	682.8181219	176.8635646	859.6816865	365	859.7
2021年度	670.3921222	173.6177024	844.0098246	365	844
2022年度	653.5038588	169.2338728	822.7377316	365	822.7
2023年度	645.6749026	167.2132567	812.8881593	366	812.9
2024年度	626.1197692	162.1917141	788.3114833	365	788.3
2025年度	611.3653787	158.3809099	769.7462885	365	769.7
2026年度	0	0	0	0	0
2027年度	0	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0	0
合計					6469.2

※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、(別紙)吸収量算定シートに記載すること。

※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が2015年度、2019年度、2023年度、2027年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

$$C_{cut} = C_{cut,AG} + C_{cut,BG}$$

A.2.4 プロジェクト実施後排出量

記号	定義	単位
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{cut,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{cut,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の 地上部バイオ マス中の排出 量 $C_{cut,AG}$ (tCO2)	当該年度の 地下部バイオ マス中の排出 量 $C_{cut,BG}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 C_{cut} (tCO2)
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	0	0	0
2022年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2025年度	0	0	0
2026年度	0	0	0
2027年度	0	0	0
2028年度	0	0	0
2029年度	0	0	0
2030年度	0	0	0
合計	0	0	0

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、（別紙）排出量算定シート(FO-001)に記載すること。

A.2.5 ベースライン吸収量の考え方

(1) ベースライン吸収量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン吸収量は、1990年4月以降に森林施業（植栽、保育、間伐）を行った人工林の面積において、2013年4月以降適切な森林経営がなされなかつた場合の吸収量とする。

(2) ベースライン吸収量の算定式

記号	定義	単位	想定値
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO2	0

A.3 モニタリング計画

=選択/記入するセル

=必要な場合のみ記入するセル

=入力しないセル

モニタリング項目			モニタリング方法 ※1			計量器			備考
記号	定義	単位	概要	詳細	頻度	計量器の種類	精度	計量器の校正方法の説明	
Area _{Forest,i}	森林施業が実施された森林の面積 (0.9を乗じた値)	ha	実測 (コンパス測量)	作業後コンパスで測量を行う	初回検証申請時に1回	TruPulse 360B	—	使用前点検 測定前に規定の目標物を測定し、キャリブレーションを実施	
Area _{Forest,cu t,i}	主伐が実施された森林の面積	ha	実測 (コンパス測量)	作業後コンパスで測量を行う	主伐実施時に1回	TruPulse 360B	—	使用前点検 測定前に規定の目標物を測定し、キャリブレーションを実施	
ΔTrank _{SC,i}	(年間) 幹材積成長量	m ³ /ha	収穫予想表	(使用する収穫予想表の名称を記載すること) スギ人工林林分収穫表 (岐阜県林政部) ヒノキ人工林林分収穫表 (岐阜県林政部) アカマツ人工林林分材積表 林分収穫予想表 (岐阜県林政部)	検証申請時に1回	—	—	—	
Trank _{SC,cut, i}	幹材積量	m ³ /ha	収穫予想表	(使用する収穫予想表の名称を記載すること) スギ人工林林分収穫表 (岐阜県林政部) ヒノキ人工林林分収穫表 (岐阜県林政部) アカマツ人工林林分材積表 林分収穫予想表 (岐阜県林政部)	検証申請時に1回	—	—	—	
WD _i	容積密度	t/m ³	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」等で公表された、かつ対象森林の特性にあった値を使用	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
BEF _i	拡大係数	—	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」等で公表された、かつ対象森林の特性にあった値を使用	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
R _{ratio,i}	地下部率	—	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」等で公表された、かつ対象森林の特性にあった値を使用	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
i	地位等による階層	—	実測	(地位特定のためのモニタリングプロットは、設定箇所を森林計画図・オルソ画像、空中写真等を用いて別添資料として示すこと)	初回検証申請時に1回	(胸高直径測定の計量器) F10-02DM ムラテック KDS	—		
						(樹高測定の計量器) TruPulse 360B LaserTechnology	—		

※1 モニタリングエリアごとに異なるモニタリング方法を適用する場合には、行を追加した上でモニタリングエリアごとに記載すること。